

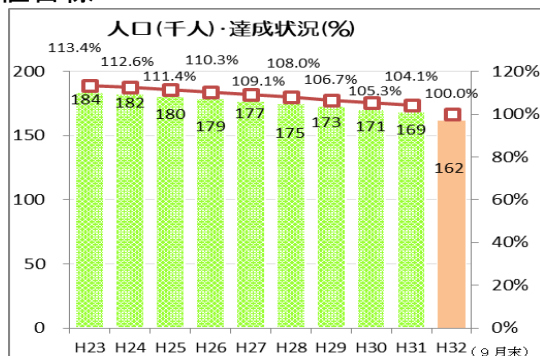
基本目標5 人口減少に対応した地域をつくる

人口減少に対応し、人口規模に見合った歩いて暮らせるまちの実現に向け、コンパクトなまちづくりの推進を施策展開の基本方針とし、公共交通と連携した都市機能の集積とネットワーク化、公有資産マネジメントなどを推進します。

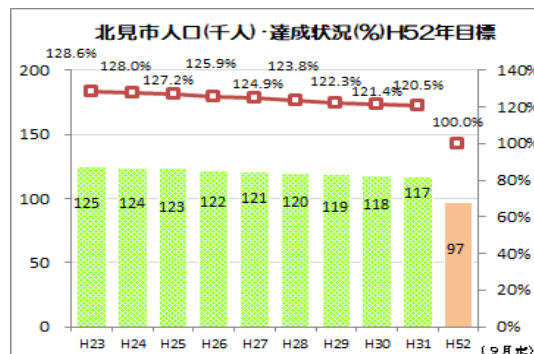
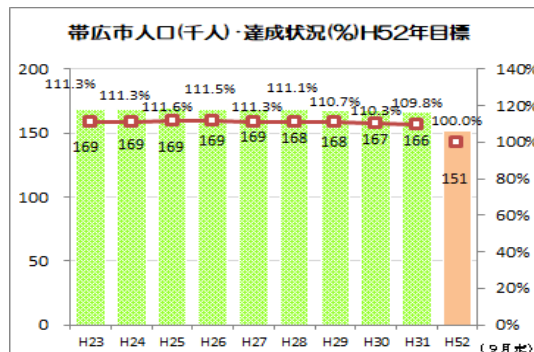
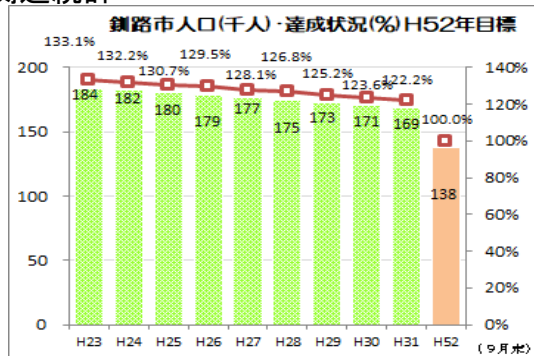
人口減少等により増加している空家等の適切な管理と様々な用途への活用を促進します。

東北海道圏域の中核都市として、物流や交通、医療など社会基盤の整備を促進するとともに、定住自立圏など近隣市町村との連携による拠点性の向上を図ります。

数値目標



関連統計



施策の体系

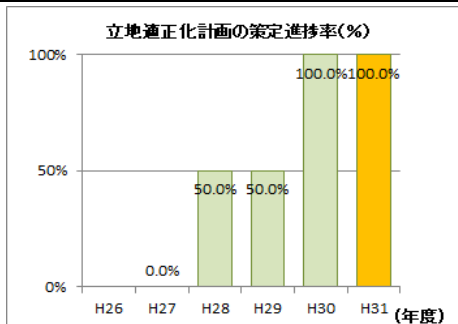
基本目標5
人口減少に対応した地域をつくる

- ① コンパクトなまちづくり
- ② 交通ネットワークの充実
- ③ 総合的・戦略的な公共施設の整備
- ④ 空家対策の推進
- ⑤ 東北海道の中核都市としての拠点性の向上
- ⑥ 定住自立圏等の取組の推進

【基本目標 5】人口減少に対応した地域をつくる

①コンパクトなまちづくり

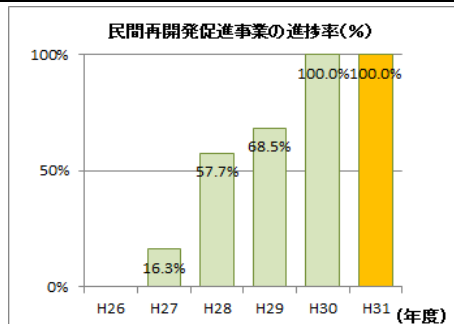
ア コンパクトなまちづくりの推進



増要因 平成31年3月に居住誘導区域などを設定し立地適正化計画を改訂したため。

減要因 —

イ まちなか居住の推進

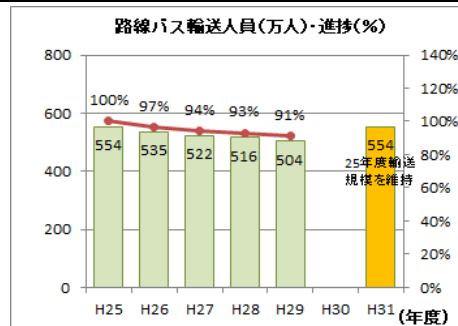


増要因 事業完了。

減要因 —

②交通ネットワークの充実

ア 公共交通の維持確保と再構築

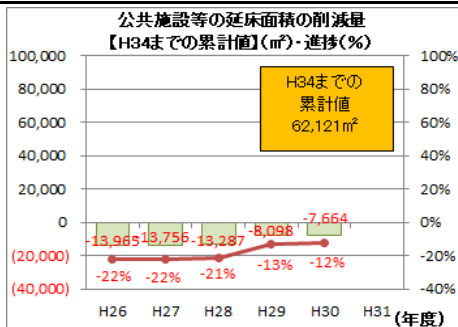


増要因 —

減要因 総人口の減少など様々な要因が考えられる。

③総合的・戦略的な公共施設の整備

ア 公有資産マネジメントの推進



増要因

緑ヶ岡会館 (売却) 290.80㎡
 興津会館 (用途廃止) 300.10㎡
 貝塚会館 (用途廃止) 289.77㎡
 緑ヶ岡児童館 (用途廃止) 274.02㎡
 生涯学習課倉庫 (解体) 73.15㎡ 計1,227.84㎡

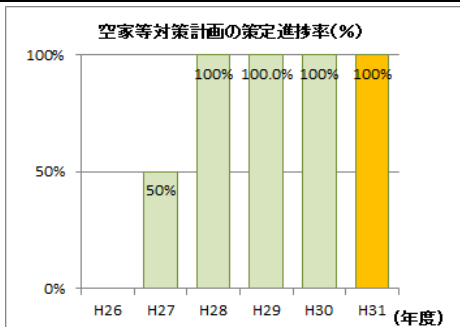
減要因

文苑中央公園 (新築) 14.75㎡
 緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター (新築) 779.59㎡
 計 794.34㎡

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

④空家等対策の推進

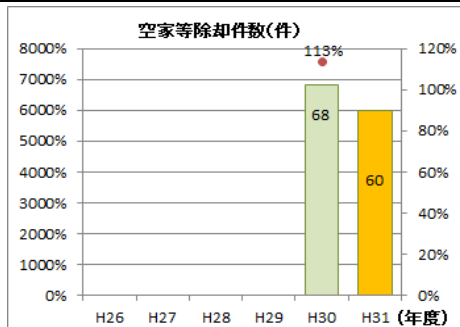
ア 空家等対策の推進



増要因 H29.2に空家等対策計画を策定済。

減要因 -

ア 空家等対策の推進

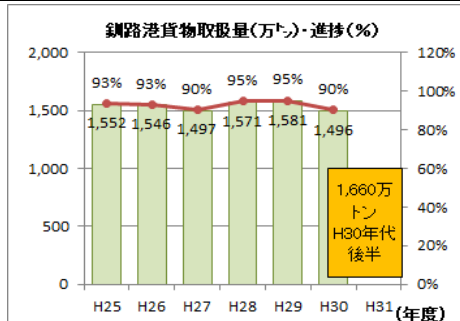


増要因 適切な管理に関する普及啓発や除却補助金等により改善数が現状値を上回ったと考えられる。

減要因 -

⑤東北北海道の中核都市としての拠点性の向上

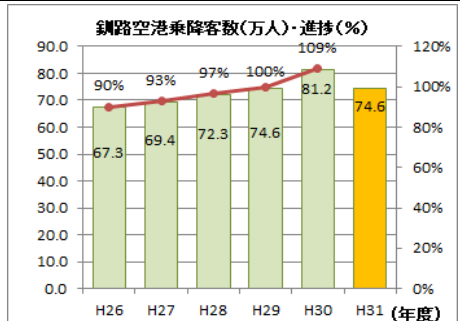
ア 物流・国際交易拠点機能の充実



増要因 -

減要因 品目別で減少した代表的なものとしては、木材チップが海外からの調達から道内での調達に変更したことにより輸入量減。石炭が採掘量の減少や工場での需要の減により移出の減。スラグが平成27年より東北での需要増により取扱が増えていたが、平年並みに落ち着いた。

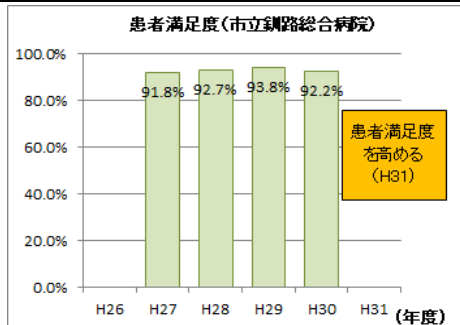
ア 物流・国際交易拠点機能の充実



増要因 H30.8月よりPeach鋼路＝関西線就航に伴う乗降客数の増。

減要因 -

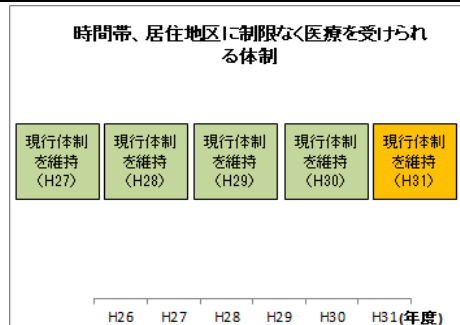
イ 医療体制の整備(再掲)



増要因 -

減要因 外来の待ち時間や駐車場について、厳しい意見がみられたため。

イ 医療体制の整備(再掲)



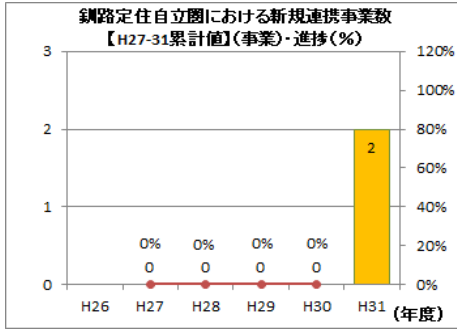
増要因 -

減要因 -

【基本目標5】人口減少に対応した地域をつくる

⑥定住自立圏等の取組の推進

ア 釧路定住自立圏等の取組の推進



増要因

—

減要因

検討中の案件は存在するが、国が指定する期限までに時間があることや、町村との調整に時間がかかり、事業化まで至っていない。